

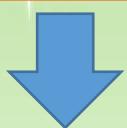
小児の訪問リハビリ(姿勢のアプローチ)

◇どんな方が対象？

脳性麻痺、筋ジストロフィー、染色体異常（ダウントン症候群、18トリソミーなど）、発達遅滞（自閉症スペクトラム、学習障害など）小児期に発症した疾患を持つお子様

◇よくきかれる困りごと

- ・姿勢をまっすぐ保てない
- ・座っていても落ち着きがない
- ・すぐに席を立つ
- ・姿勢が悪く、ダラダラして見える。
- ・手先が不器用

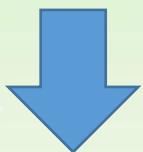


何が原因？

- ・筋肉の張り具合を調整するのが苦手
- ・自分の体の部位やその大きさ、長さ、動かし方などがわかりにくい
- ・目でとらえた情報をもとに手や体の運動を連動させることが苦手
- ・身体の揺れや傾き、回転などを感じ取り、姿勢をコントロールすることが難しい

などの要因が言われています。

〈リハビリ場面の一例〉



姿勢をコントロールする為の土台となる
感覚を育てていく事が大切！！！

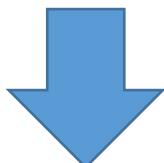
バランスボールによるアプローチ



引いたり、押したりする動作の利用



作業活動



リハビリすることで何が変わる？

座った姿勢での身体の軸を育てるのに役立ちます。軸がしっかりとくると姿勢を保持できるようになり、学習や食事など様々な活動に集中しやすくなっています。

◇重症心身障害を有するお子さんのリハビリについて

リハビリでは環境や姿勢を整えたり、道具を提案したりすることで、一緒に様々な感覚を楽しみ、経験を重ねながら、「生活の場で」本人の育つ力やご家族での楽しみを少しでもお手伝いできるよう関わって行きます。

◇ポジショニング（姿勢管理）とは

好きな姿勢ばかりとっていると、将来身体が硬くなったり、変形したりして、肺や消化器などに悪影響を及ぼす事もあります。

⇒本人にとって、安全・安心・安定・安楽な様々な姿勢を工夫する必要があります。

◇ポジショニングを行う目的

- ・筋緊張のコントロール
- ・拘縮や変形の予防
- ・排痰
- ・褥瘡の予防
- ・リラクゼーション
- ・目や手を使いややすくする

〈仰臥位〉



〈半側臥位〉



〈座位保持〉



〈側臥位〉



☆1日の中で、または場面に合わせられるように多くのバリエーションをもてるよう支援していきます。

★★お問い合わせ ★★

〒813-0003 福岡市東区香住ヶ丘 1-7-5 香住ヶ丘リハビリ訪問看護ステーション

Tel 092-674-0202 Fax 092-673-0018 Email koumoto@k-kasumigaoka.com



←facebook はこちら



←ホームページはこちら

